

第4期安来市地域福祉計画・地域福祉活動計画(案)への意見募集の結果及び意見に対する安来市の考え方	
募集期間	令和7年1月30日(木)から令和7年2月28日(金)まで
資料公開場所	市のホームページ及び安来庁舎(総合案内)、健康福祉センター(福祉課)、伯太庁舎(伯太地域センター)
意見提出者数	1名
意見項目件数	4項目
意見の取扱い	今回のパブリックコメントと関連のない意見等が提出されている場合、その意見等について公表していません。 ご意見の中から計画に関わる部分を抜粋し、要約しています。

2. 意見の内容と安来市の考え方について

No.	該当ページ	意見の内容	市の考え方等
1	47	介護認定について ※要約及び一部抜粋しています。 支援介護申請にて1.0H様子を見に来て却下された。医者、病院にも解らない事が、解るハズがない。不足あれば、物申す様にとの(ハガキにて)そんな元気があれば、申請はこない。長年のケアマネージャーでの判断で(ケアマネージャーの強化)、本人も納得の上での判断申請であり、行政上の便利な都合が良いかもしれないが、深層心理を理解しておられないと感じる。	要介護認定申請につきましては、訪問調査員が本人に対して、心身の状況などについて聞き取り調査を行い、その後、主治医の先生より意見書を作成していただいております。訪問調査の内容や主治医の意見書などをもとに、保健、医療、福祉の専門家が審査し、要介護認定の決定をしております。今後も、安来市では市民の皆様が安心して生活できるよう、真摯に向き合い対応していきます。また、却下された理由やその根拠について、丁寧に説明し、必要な支援や相談先などを提案しています。追加の質問や不明点があれば、いつでもご相談ください。
2	47	包括支援センター、ケアマネージャーの業務姿勢について ※要約及び一部抜粋しています。 Timeを優先した業務のあり方に疑問を感じる。業務経営も大切かもしれぬが、本末転倒の感じがする、時間はaboutにし、基本押えながらも、臨機応変の対応が望まれる。その謙尊と感謝でもって、成立する。適材適所として足ることを知ろうではないか、智慧を出し合って、信頼関係の構築を図ろうではないか。	市民の方に寄り添った支援が支援が出来るよう研修等を行い、地域の実情にあった地域包括支援に向けて取り組んで参ります。
3	77	フードバンク事業について ※要約及び一部抜粋しています。 フードバンク、子供食堂に於て、かなりの量が廃棄処分されていると聞いている、身寄りのない施設、後期高齢者、独居老人、子供食堂への配慮してみても、すでにされているかも？	フードバンク、子ども食堂に於て、廃棄処分がされている事実はありません。また、フードバンクは、必要とされている方がどなたでも相談していただける体制となっております。
4	71	子育て支援について ※要約及び一部抜粋しています。 幼少期のリーダーである担当者は、よく心得て、宝石の礎である人々を大切、寛容、許し(磨き)、おおらかさで見守り、育んでいただきたい。 やるべき事はやり、やらなくとも良い事はナシ、ガンバって見分けを付けようではないでしょうか。(善、悪を見分ける、今までの知識を一旦、脇において)(忘れるべき事は忘れる)	地域や関係団体と協力しながら、将来を担っていく子どもたちへの支援を充実させることで、子どもたちが不自由なく暮らせる環境を整え、自主性や責任感、思いやりを育み、人々を大切にする事で信頼関係を築けるよう、行政の立場から、子どもたちとの関わりに様々なアプローチを続けていきます。